



講座概要

新潟大学理学部は、日本海側最大規模の教員および学生を有し、数学、物理学、化学、生物学、地質科学、自然環境科学、フィールド科学人材育成の7つのプログラムにおいて、自然科学に関する多様な基礎研究が活発に行われています。これらの基礎科学の研究成果は、人類の新たな「知」を生み出し、イノベーション創出の源泉となります。公開講座「理学部での自然科学研究の最前線」では、理学部から出された最新の研究成果を厳選し、研究内容やその期待される成果について、地域の皆様にわかりやすくお話しします。本講座（生物・地球篇）では、生物学、地質科学、および自然環境科学・フィールド科学の分野から厳選した3つの最新の研究成果について紹介します。

| 日 程 | 講義題目 | 講 義 内 容 | 講 師 |
|---|---------------------------------------|---|--------------------------|
| [Zoom] 11月27日(日) 13:30~14:30 | 生命科学の 新たな地平線、 糖鎖生物学の世界 | 糖鎖生物学は新しい生命科学の分野で、既に抗ウイルス薬や癌診断などにも応用されています。本講義では、最先端の研究についてわかりやすく解説します。 | 自然科学系(理学部) 教授 長 束 俊 治 |
| [YouTube] 12月1日(木) 配信予定 | | 11月27日(日)の講義録画を配信します。 | |
| [Zoom] 12月4日(日) 13:30~14:30 | かんらん岩から 上部マントルの 世界を探る | 北海道日高山脈と中東オマーンのマントル由来の岩石の研究から地球の上部マントルで起こっている現象についてお話しします。 | 自然科学系(理学部) 教授 高 澤 栄 一 |
| [YouTube] 12月8日(木) 配信予定 | | 12月4日(日)の講義録画を配信します。 | |
| [Zoom] 12月11日(日) 13:30~14:30 | カイヤドリウミグモ の謎を追う | アサリなどの有用二枚貝に寄生して漁業被害を与える“海の吸血鬼”カイヤドリウミグモが持つ数々の謎についてお話しします。 | 自然科学系(理学部) 教授 宮 崎 勝 己 |
| [YouTube] 12月15日(木) 配信予定 | | 12月11日(日)の講義録画を配信します。 | |

- **【Zoom版】**の受講では、講義時間中に音声通話とチャットメッセージによる質問を受付けます。音声通話で質問をご希望の方は、マイク等を備えた機器が必要です。
- 配信期間中(令和5年1月13日(金)まで)は、メール等でも質問を受付けます。